

令和 6 年度 政 務 活 動 費 支 出 整 理 簿

会 派 名 きずなクラブ

氏 名 吉 田 洸 龍

項 目	研修費		
費 目	旅費		
整理番号	月 日	支出額 (円)	支 出 内 容
1	1 / 27	235,480	「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会(神奈川県横須賀市)(日程、場所等は調査視察等届出書等に記載)
1-1	0 / 0	0	JR代 八戸⇄横須賀中央28,920円 横須賀市宿泊代11,000円
1-2	0 / 0	0	JR代 八戸⇄横浜41,340円 京浜急行電鉄代 横浜⇄横須賀中央820円 横須賀市宿泊代11,000円
1-3	0 / 0	0	JR代 八戸⇄横浜41,340円 横須賀市宿泊代11,000円
1-4	0 / 0	0	JR代 八戸⇄横須賀中央24,880円 横須賀市宿泊代11,000円
1-5	0 / 0	0	JR代 八戸⇄横須賀中央43,180円 横須賀市宿泊代11,000円
2	7 / 3	42,130	「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会(東京都千代田区)(日程、場所等は調査視察等届出書等に記載)
2-1	0 / 0	0	JR代 八戸⇄新橋28,780円 東京都宿泊代13,350円
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
	/		
小 計		277,610	備 考
合 計		277,610	

※案分による支出の場合は、案分率等を支出内容欄に記入してください。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年11月8日

会派名 きずなクラブ

代表者名 五 戸 定 博 様

氏 名 五 戸 定 博
寺 地 則 行
三 浦 博 司
田名部 裕 美
吉 田 洸 龍



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 五 戸 定 博 議員、寺 地 則 行 議員、
三 浦 博 司 議員、田名部 裕 美 議員、
吉 田 洸 龍 議員
- 2 期 間 令和7年1月27月（月）～令和7年1月28日（火）
- 3 場 所 神奈川県横須賀市
- 4 目的及び内容 「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」
海洋フォーラム等
- 5 支出可能額（上限額） 274,200円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【五戸議員】

旅 行 日 程			旅 費 計 算 の 基 礎				
行	1/27	八戸駅発 7:17	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考
き	1/27	横須賀中央駅着 12:43	早見表				
帰	1/28	横須賀中央駅発 8:49					
り	1/28	八戸駅着 13:33					
経路・滞在地 別紙のとおり			鉄道運賃	694.3k	10,340	18,600	八戸⇄横須賀（往復割引）
			急 行 料 金	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
				2	△200	△400	閑散期割引 (1/27, 1/28)
			急				
			特別車両 料 金	2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
			京浜急行バス	2	200	400	横須賀駅⇄横須賀中央駅
			宿泊料	1	12,500	12,500	横須賀市内泊（1/27）
			小 計			54,840	
			合 計（小計×人数）			54,840	1名

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【寺地議員・田名部議員・吉田議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎								
行	1/27	八戸駅発 8:11	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考					
き	1/27	横須賀中央駅着 13:15	早見表									
帰	1/28	横須賀中央駅発 8:49										
	1/28	八戸駅着 13:33										
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	694.3k	10,340	18,600	八戸⇄横須賀（往復割引）				
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k			
						2	△200	△400	閑散期割引 (1/27, 1/28)			
				急								
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k			
				京浜急行バス		2	200	400	横須賀駅⇄横須賀中央駅			
				宿泊料		1	12,500	12,500	横須賀市内泊（1/27）			
				小 計						54,840		
				合 計（小計×人数）						164,520	3 名	

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅 費 額 計 算 書

【三浦議員】

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎					
行	1/27	八戸駅発	8:11	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
き	1/27	横須賀中央駅着	13:15	早見表					
帰 り	1/28	横須賀中央駅発	13:16						
	1/28	八戸駅着	17:04						
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	694.3k	10,340	18,600	八戸⇄横須賀（往復割引）	
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
						2	△200	△400	閑散期割引 (1/27, 1/28)
				急					
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				京浜急行バス		2	200	400	横須賀駅⇄横須賀中央駅
				宿泊料	1	12,500	12,500	横須賀市内泊（1/27）	
				小 計					
合 計（小計×人数）							54,840	1名	

令和6年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟海洋フォーラム等 視察行程

・日程：令和7年1月27日(月)～1月28日(火)

・場所：神奈川県横須賀市

月 日	行 程	宿泊地
1月27日 (月)	7:17発 八戸 → (はやぶさ8号) → 10:33着/11:07発 東京 → (JR横須賀線) → 12:25着/12:35発 横須賀 → (京浜急行バス) → 12:43着/12:45発 横須賀中央 → (移動) → 12:50着/13:00～19:00 セントラルホテル (海洋フォーラム等)	横須賀市内
1月28日 (火)	8:40発 セントラルホテル → (移動) → 8:45着/8:49発 横須賀中央 → (京浜急行バス) → 8:58着/9:11発 横須賀 → (JR横須賀線) 9:22着/9:25発 逗子 → (JR横須賀線) → 10:24着/10:45発 東京 → (はやぶさ19号) → 13:33着 八戸	

令和6年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟海洋フォーラム等 視察行程

寺地議員
田名部議員
吉田議員

・日程：令和7年1月27日（月）～1月28日（火）
・場所：神奈川県横須賀市

月 日	行 程	宿泊地
1月27日 (月)	8:11発 八戸 → (はやぶさ10号) → 11:04着/11:23発 東京 → (JR横須賀線) → 12:30着/12:35発 逗子 → (JR横須賀線) 12:45着/13:09発 横須賀 → (京浜急行バス) → 13:15着/13:20発 横須賀中央 → (移動) → 13:25着/13:45～19:00 セントラルホテル (海洋フォーラム等)	横須賀市内
1月28日 (火)	8:40発 セントラルホテル → (移動) → 8:45着/8:49発 横須賀中央 → (京浜急行バス) → 8:58着/9:11発 横須賀 → (JR横須賀線) 9:22着/9:25発 逗子 → (JR横須賀線) → 10:24着/10:45発 東京 → (はやぶさ19号) → 13:33着 八戸	

令和6年度 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟海洋フォーラム等 視察行程

・日程：令和7年1月27日（月）～ 1月28日（火）

・場所：神奈川県横須賀市

月日	行程	宿泊地
1月27日 (月)	8:11発 八戸 → (はやぶさ10号) → 11:04着/11:23発 東京 → (JR横須賀線) → 12:30着/12:35発 逗子 → (JR横須賀線) 12:45着/13:09発 横須賀 → (京浜急行バス) → 13:15着/13:20発 横須賀中央 → (移動) → 13:25着/13:45～19:00 セントラルホテル (海洋フォーラム等)	横須賀市内
1月28日 (火)	8:10～12:30 横須賀市内 (視察) → (移動) → 13:16発 横須賀中央 → (京浜急行バス) → 13:25着/13:34発 横須賀 → (JR横須賀線) 13:44着/13:52発 逗子 → (JR横須賀線) → 14:53着/14:20発 東京 → (はやぶさ27号) → 17:04着 八戸	

令和7年3月6日

会派名 きずなクラブ

代表者名 五戸定博様

氏名 五戸定博
寺地則行
三浦博司
田名部裕美
吉田洸龍



調査視察等報告書

令和6年11月8日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 五戸定博議員、寺地則行議員、
三浦博司議員、田名部裕美議員、
吉田洸龍議員
- 2 期間 令和7年1月27月（月）～令和7年1月28日（火）
- 3 場所 神奈川県横須賀市
- 4 行程 ○五戸議員、三浦議員、吉田議員
1月27日 八戸～JR～東京～JR～横浜～京急本線
～横須賀中央
1月28日 横須賀中央～京急本線～横浜～JR～東京
～JR～八戸
○寺地議員、田名部議員
1月27日 八戸～JR～東京～JR～横須賀
1月28日 横須賀～JR～東京～JR～八戸
- 5 支出額 235,480円
- 6 概要 別紙のとおり

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	1 - 1
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2025年 1月14日

五戸定博様

金28,920円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

旅須加

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

本八戸802 No.000010

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

研修費旅費 整理番号

請求書・領収書

RECEIPT



セントラルホテル

CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/

お部屋番号 711 お名前 五戸 定博 様
ROOM No. NAME

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2025/01/27	2025/01/28	1	2025/01/28	

日付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘要 DESCRIPTION	料金 CHARGES	お預り金 DEPOSIT	残高 BALANCE
01/27	711	ご宿泊代 お支払い	11,000		11,000

総合計 TOTAL	10%対象(税込) CHARGES	お預り金 DEPOSIT	ご請求金額 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND	10%対象消費税額 宿掛分の消費税は含みません
	11,000		11,000	0	1,000

会社名
COMPANY NAME

28020030D6002030054

CC

ご住所
ADDRESS

ご署名
SIGNATURE

ありがとうございます。またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you for staying with us. We look forward to the pleasure of serving you again.

EIG※

日付 2025/01/28

領収書
RECEIPT

お名前 五戸 定博 様
NAME

金額 ¥11,000
AMOUNT DUE

10%対象合計: 11,000 10%対象消費税: 1,000

ご宿泊代として

上記金額確かに領収致しました
We have receipt your payment.



セントラルホテル

CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	1-2
領収書等貼付欄					

領 収 証

No.123786

2025年3月5日

三浦 博司 様

SOMYTEC

金額				¥	4	1	3	4	0
----	--	--	--	---	---	---	---	---	---

但し、7R1Y1Z

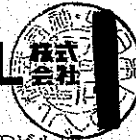
10%対象(税込) 41,340

内消費税 3,758 円 上記の金額正に領収致しました。

貼
用
収
入
印
紙

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トラベル株式会社
登録番号 T1420001005756
〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDBビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)



扱 者 印



NO.05341

領 収 書

三浦 博司 様

金額 ￥410-

※課税10%対象 ￥410-

2025年-1月28日

上記金額正に領収いたしました

但し、乗車券 代金として

横須賀中央駅発行 2102
京浜急行電鉄株式会社
登録番号: T7010401009277

NO.32092

領 収 書

三浦 博司 様

金額 ￥410-

※課税10%対象 ￥410-

2025年-1月27日

上記金額正に領収いたしました

但し、乗車券 代金として

横浜駅発行 2102
京浜急行電鉄株式会社
登録番号: T7010401009277

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

様

令和6年11月28日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 正人

青森県八戸市廿三日町4-1

電話 0178-22-5151

担当 [REDACTED]

登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。

ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 5 名 計 5 名
ご旅行期間 令和7年1月27日～1月30日
ご旅行方面 神奈川県横須賀市・高知県はりまや町 方面
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 492,560 円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	2	21,680			43,360	1/27八戸/本八戸～横浜(片道) 土嶺議員・立花議員
	2	41,340			82,680	1/27～28八戸/本八戸～横浜(往復) 吉田議員・三浦議員
航空機代	2	60,730			121,460	1/28羽田～高知1/30高知～羽田～三沢 土嶺議員・立花議員
	1	35,060			35,060	1/28～30 羽田～高知(往復) 日當議員
宿泊代	1	19,800			19,800	1/28泊 西鉄イン高知はりまや橋朝なし
	4	22,800			91,200	1/28泊 西鉄イン高知はりまや橋朝付き
マイクロバス代	1	99,000			99,000	1/29 高知駅前観光 27名乗り
明細金額小計					492,560	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					492,560	消費税10% 44,778円

特記事項

研修費旅費 整理番号

1-2

請求書・領収書

RECEIPT

セントラルホテル
CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/

お部屋番号 720 お名前 三浦 博司 様
ROOM No. NAME

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2025/01/27	2025/01/28	1	2025/01/28	

日付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘要 DESCRIPTION	料金 CHARGES	お預り金 DEPOSIT	残高 BALANCE
01/27	720	ご宿泊代 お支払い	11,000		11,000

総合計 TOTAL	10%対象(税込) CHARGES	お預り金 DEPOSIT	ご請求金額 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND	10%対象消費税額 宿掛分の消費税は含みません
	11,000		11,000	0	1,000

会社名
COMPANY NAME

28020036D6002030521

CC

ご住所
ADDRESS

ご署名
SIGNATURE

ありがとうございます。またのご利用をお待ち申し上げます。

EIG※

Thank you for staying with us. We look forward to the pleasure of serving you again.

日付 2025/01/28

領収書
RECEIPT

お名前 三浦 博司 様
NAME

金額 ¥11,000
AMOUNT DUE

10%対象合計: 11,000 10%対象消費税: 1,000

ご宿泊代として

上記金額確かに領収致しました
We have receipt your payment.

セントラルホテル
CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	1-3
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

No. 123787

2025年3月5日

吉田 汎龍 様

金 額			¥	4	1	3	4	0
-----	--	--	---	---	---	---	---	---

但し 7K代と12

10%対象(税込) 4,134.0

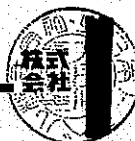
内 消費税 375.8円 上記の金額正に領収致しました。

貼 収
用 入
印 紙

現 金	✓
小切手	
振 込	
クレジット	



北日本トラベル



登録番号 T1420001005756
〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151(代)

扱 者 印



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

ご旅行代金明細書

様

令和6年11月28日

北日本トラベル株式会社

店長 大久保 正人
青森県八戸市廿三日町4-1
電話 0178-22-5151
担当 XXXXXXXXXX
登録番号 T1420001005756

ご依頼賜りました件につきまして、下記の通り請求させていただきます。
ご不明な点がございましたら担当者までお問い合わせ頂きます様お願い申し上げます。

参加人員 大人 5 名 計 5 名
ご旅行期間 令和7年1月27日～1月30日
ご旅行方面 神奈川県横須賀市・高知県はりまや町 方面
行程 ご依頼を頂いた別紙の通りとなります。

総旅行代金 492,560 円

明細内訳

項目	人員		台数 人数	ご利用 運賃・料金	小計	区間・備考
JR代	2	21,680			43,360	1/27八戸/本八戸～横浜(片道) 土嶺議員・立花議員
	2	41,340			82,680	1/27～28八戸/本八戸～横浜(往復) 吉田議員・三浦議員
航空機代	2	60,730			121,460	1/28羽田～高知1/30高知～羽田～三沢 土嶺議員・立花議員
	1	35,060			35,060	1/28～30 羽田～高知(往復) 日當議員
宿泊代	1	19,800			19,800	1/28泊 西鉄イン高知はりまや橋朝なし
	4	22,800			91,200	1/28泊 西鉄イン高知はりまや橋朝付き
マイクロバス代	1	99,000			99,000	1/29 高知駅前観光 27名乗り
明細金額小計					492,560	
取消料						
現地支払代金				△		
明細金額合計					492,560	消費税10% 44,778円

特記事項

請求書・領収書

RECEIPT

セントラルホテル
CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/

お部屋番号 811 お名前 吉田 洸龍 様
ROOM No. NAME

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2025/01/27	2025/01/28	1	2025/01/28	

日付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘要 DESCRIPTION	料金 CHARGES	お預り金 DEPOSIT	残高 BALANCE
01/27	811	ご宿泊代	11,000		
01/27	811	*お預り金 お支払い		11,000	0

総合計 TOTAL	10%対象(税込) CHARGES	お預り金 DEPOSIT	ご請求金額 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND	10%対象消費税額 宿料分の消費税は含みません
	11,000	11,000	0	0	1,000

会社名
COMPANY NAME

28020051P6002031825
CA

ご住所
ADDRESS

ご署名
SIGNATURE

ありがとうございます。またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you for staying with us. We look forward to the pleasure of serving you again.

EIG※

日付 2025/01/28

領収書
RECEIPT

お名前 吉田 洸龍 様
NAME

金額 ¥11,000
AMOUNT DUE

10%対象合計: 11,000 10%対象消費税: 1,000

ご宿泊代として

上記金額確かに領収致しました
We have receipt your payment.

セントラルホテル
CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

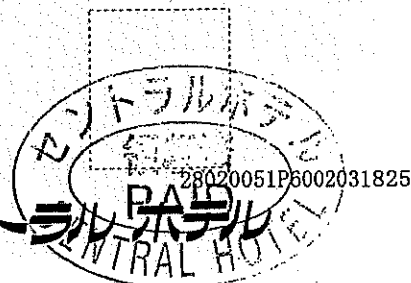
〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/



領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	1-4
領 収 書 等 貼 付 欄					

領 収 証

2025年 1月14日

寺地 則行 様

金24,880円

ただし、乗車券類代
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

印 紙 税 申 告 納
付 に つ き 渋谷
税 務 署 承 認 済

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597

本八戸801 No.000007



※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

研修費旅費 整理番号

請求書・領収書

RECEIPT



セントラルホテル

CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/

お部屋番号 714 お名前 寺地 則行 様
ROOM No. NAME

到着日 ARRIVAL	出発日 DEPARTURE	人数 PERSON(S)	発行日 ISSUED	備考 REMARKS
2025/01/27	2025/01/28	1	2025/01/28	

日付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘要 DESCRIPTION	料金 CHARGES	お預り金 DEPOSIT	残高 BALANCE
01/27	714	ご宿泊代 お支払い	11,000		11,000

総合計 TOTAL	10%対象(税込) CHARGES	お預り金 DEPOSIT	ご請求金額 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND	10%対象消費税額 宿料分の消費税は含みません
	11,000		11,000	0	1,000

28020032D6002030131

会社名
COMPANY NAME

ご住所
ADDRESS

ご署名
SIGNATURE

EIG※

ありがとうございます。またのご利用をお待ち申し上げます。
Thank you for staying with us. We look forward to the pleasure of serving you again.

日付 2025/01/28

領収書
RECEIPT

お名前 寺地 則行 様
NAME

金額 ¥11,000
AMOUNT DUE

10%対象合計: 11,000 10%対象消費税: 1,000

ご宿泊代として

上記金額確かに領収致しました
We have receipt your payment.



セントラルホテル

CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	1-4
領 収 書 等 貼 付 欄					

発行日 2025年01月14日14時00分
発行番号 No.E595940072756470127

えきねっと ご利用票兼領収書
下記の金額を、確かに領収しました。

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号：T9011001029597

宛名	矢田部 裕美 様
金額	¥40,960(税込10%) クレジットカード利用(カード番号下4桁：[REDACTED])
但し	きっぷのご購入代金として

きっぷの明細 (行きの列車)

予約番号	E59594
購入日	2025年01月14日
乗車日	2025年01月27日
列車名・区間	○はやぶさ10号グリーン(乗車券込み) 八戸 → 東京
ご利用人数	おとな1名

領 収 書 Receipt 領収年月日 2025-1.14 登録番号：T9011001029597 金 額 ¥2,220 税10% 上記金額確かに領収いたしました 購入商品 JR乗車券類 (10071 2枚) 東日本旅客鉄道株式会社 本八戸駅VFO1発行 20072-02 印紙税申告納 付につき渋谷 税務署承認済	貼り付けること。
--	-----------------

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	1-4
領 収 書 等 貼 付 欄					

発行日 2025年01月14日14時00分
発行番号 No.E595940072756470127

えきねっと ご利用票兼領収書

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号：T9011001029597

きっぷの明細 （帰りの列車）

予約番号	E59594
購入日	2025年01月14日
乗車日	2025年01月28日
列車名・区間	○はやぶさ3 1号グリーン(乗車券込み) 東京 → 八戸
ご利用人数	おとな1名

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

領 収 書 等 貼 付 用 紙

項 目	研修費	費 目	旅費	整理番号	1-4
領 収 書 等 貼 付 欄					

請 求 書・領 収 書

RECEIPT

 セントラル ホテル

CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/

お部屋番号 734 お名前 田名部 裕美 様
ROOM No. NAME

到 着 日 ARRIVAL	出 発 日 DEPARTURE	人 数 PERSON(S)	発 行 日 ISSUED	備 考 REMARKS
2025/01/27	2025/01/28	1	2025/01/28	

日 付 DATE	お部屋番号 ROOM No.	摘 要 DESCRIPTION	料 金 CHARGES	お預り金 DEPOSIT	残 高 BALANCE
01/27	734	ご宿泊代 お支払い	11,000		11,000

総合計 TOTAL	10%対象(税込) CHARGES	お預り金 DEPOSIT	ご 請 求 金 額 BALANCE DUE	ご返金額 REFUND	10%対象消費税額 宿辨分の消費税は含みません
	11,000		11,000	0	1,000

会 社 名
COMPANY NAME

28020041D6002030709

CC

ご 住 所
ADDRESSご署名
SIGNATURE

ありがとうございます。またのご利用をお待ち申し上げます。

EIG※

Thank you for staying with us. We look forward to the pleasure of serving you again.

日付 2025/01/28

領 収 書
RECEIPTお名前 田名部 裕美 様
NAME金 額
AMOUNT DUE ¥11,000

10%対象合計: 11,000 10%対象消費税: 1,000

ご宿泊代として

上記金額確かに領収致しました
We have receipt your payment. セントラル ホテル

CENTRAL HOTEL

登録番号: T2021001043018

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松町2-8

TEL: 046-827-1111

FAX: 046-825-0837

E-Mail: front@central-h.co.jp

URL: http://www.central-wedding.com/

【開催日時等】

○日時：令和7年1月27日（月）～28日（火）

○場所：神奈川県横須賀市

・横須賀海洋フォーラム：セントラルホテル（横須賀市若松町2-8）

【参加議員】

・吉田洸龍、田名部裕美、三浦博司、五戸定博、寺地則行

【視察概要】

1 横須賀海洋フォーラム

(1) 基調講演

○演題 「ブルーカーボンについて」

○講師 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所
ジャパンプルーエコノミー技術研究組合 理事長 桑江 朝比呂 氏

○概要

- ・このまま対策を講じなければ、地球温暖化による経済的損失は今世紀末に対 GDP 比で5%に達し、対策がうまくいったとしても1%程度になると予測されている。日本では5～25兆円になる勘定で、差分の4%を何とかすることが課題である。
- ・日本も2050年のカーボンニュートラルを宣言したが、対策に努めたとしても2050年時点で10～30%の残余排出が出るといわれており、10%としても年間1億トンの二酸化炭素の吸収・除去が必要である。日本の自然系の吸収・除去量は、森林による吸収をメインに年間5,000万トン程度であるが、今後森林の高齢化に伴い吸収量の低下が予測されている。
- ・海草や海藻によるブルーカーボンは炭素の貯留能力が高く、かつ現在想定されている吸収・除去技術のうちで最も総合評価が高いため世界的に注目されている。しかし、必要な吸収量を確保するには天然の藻場の維持・造成だけでは足りず、海藻養殖の拡大が不可欠である。
- ・多くの企業が二酸化炭素の排出ゼロやマイナスを目標に掲げており、排出オフセットのためのカーボンクレジットに対する需要が拡大している。しかしながら、藻場の造成など海洋における吸収源の創出は、これまで自治体や漁業者、市民団体などによるボランタリーなものにとどまっており、公共事業による取組にも財政的な限界がある。
- ・ブルーカーボンの取組を社会実装するためには、ヒト・カネ・モノとこれらをつなぐ仕組みが必要である。そこでジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）を組織し、カーボンクレジットにより企業からの資金還流を実現するための仕組み（Jブルークレジット）についての社会実験を進めている。
- ・藻場の回復・造成、海藻養殖、人工構造物を利用した海藻培養など、海草・海藻を増やす取組の全てがクレジットの対象となるが、取組を通じて取組以前に比べて、また取組が行われていない場所に比

べて、二酸化炭素の吸収量が増えていることが定量的に示されること、クレジット販売による資金獲得が取組の継続に必要であることが客観的に示されることが基本的な条件である。

- ・クレジットの認証件数は、2020年の1件から2022年には21件と急速に拡大しており、吸収量、販売金額も急速に拡大している。ブルーカーボンの取組は海域の環境改善や生物多様性保全にも効果を持つことが特徴であり、それが価格にも反映されている。
- ・ブルーカーボンの拡大には人工構造物の利用など新しい基盤の積極的な利用が不可欠であり、生産・生育過程のモニタリングのための計測技術の開発・運用も課題である。また、関係者にとって楽しく、儲かることが取組の発展・継続の鍵である。

(2) 事例発表

①「JAMSTECの海洋STEAM教育」

発表者 国立研究開発法人 海洋研究開発機構

海洋科学技術戦略部 海洋STEAM推進課 課長 市原 盛雄 氏

概要 次世代の海洋人材育成につながる取組として、新たに「海洋STEAMプロジェクト」を開始。教科等横断的な学習のSTEAM教育に着目し、学習指導要領に沿った海洋STEAM教材を学校教育現場で活用。地方自治体との連携によって実際に行った授業の事例など、これまでの取組状況と今後の展望について紹介。(詳細は配付資料を参照)

②「マリエント「ちきゅう」たんけんクラブの活動」

発表者 八戸市水産科学館マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ

杉本 よし埜 氏、川口 慶治 氏、岩岡 美彩希 氏、平 希望 氏

概要 2007年はちのへ「ちきゅう」情報館オープンと「ちきゅう」たんけんクラブ発足の経緯や会員の推移、近年の活動内容に関するもので2024年5月に開催された地球科学分野で国内最大の学会であるJpGU(日本地球惑星科学連合)の大会で発表されたレポートを紹介。具体的には岩手県洋野町にある「辰の口」という岬のジオサイトとしての適性や魅力についての調査や考察など三陸ジオパークの魅力を全国に発信するものであった。今後は地域振興の可能性を考慮し、新たなコンテンツの開発と三陸ジオパークを世界ジオパークにするために協力していくという意欲のある発表であった。(詳細は配付資料を参照)

③「横須賀海洋クラブによる活動報告 ～ブルーカーボン生態系の保全に向けて～」

発表者 一般社団法人BlueArch 代表理事 武藤 素輝 氏

横須賀海洋クラブ 大木 葵 氏

概要 一般社団法人BlueArchはドローンとAI技術を用いたブルーカーボン生態系の調査手法を開発し、調査結果が国内初のJブルークレジット認証を取得した。これにより、従来の潜水調査手法に比べ効率性とコスト面での優位性が証明され、ブルーカーボンの保全や気候変動対策、生物多様性の保全促進に寄与している。

神奈川県内の調査では、水中ドローンや空中ドローンを使用し、AI 解析を活用して藻場の二酸化炭素の吸収量や分布面積を正確かつ効率的に算定しており、従来の手法に比べ、広域調査の実現やコスト削減効果が確認された。今後はさらに調査手法の高度化やパートナーシップの強化を通じ、海洋生態系保全の推進を目指している。

次に、横須賀海洋クラブの大木氏より同クラブのブルーカーボン推進に向けた具体的な事例を発表。（詳細は配付資料を参照）

④「海洋人材育成と NME の取組」

発表者 日本海洋事業株式会社（NME）代表取締役社長 山田 正克 氏

概 要 同社は海にまつわる調査・工事・教育という3つのフィールドで、その最前線を支える3つの事業を展開している。

○海洋知識と高い運航技術を活かした調査船や実習船などの運航管理をする運航事業。

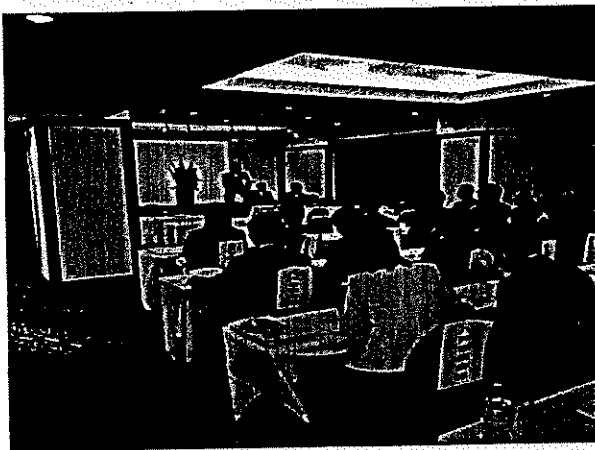
○大気・海洋・地殻を対象にした調査データの解析や観測装置の運用を行う調査事業。

○深海調査における水中探査機の運用管理を主軸に、洋上風力発電や海底ケーブルに関する水中工事で活躍する大小様々な ROV のオペレーションを支援する水中機器事業。

これらの事業を推進し、未来を担うクリーンエネルギーへの貢献の先に、子どもたちの探求心があふれる未来をつくるというビジョンの実現を目指している。

（詳細は配付資料を参照）

【総会の様子】



【所感】

今回、我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 横須賀海洋フォーラムに参加させていただき、最先端の海洋科学技術と、研究者の熱意、その活動を支える全国の議員連盟の方々の熱い思いに大変感銘を受けた。また、地球環境の変化や自然災害のメカニズムを解明するための調査・観測、また深海探査技術の開発など、JAMSTEC が果たしている役割の大きさを改めて実感した。特に、地球温暖化に関する長期観測や、ブルーカーボンについては、今後の発展や脱炭素化に期待したい。

また、視察を通じて、こうした最先端の科学研究を次世代へとつなげていく教育的役割の重要性も強く感じる事ができた。当市のちきゅう探検クラブや横須賀海洋クラブの活動報告から、青少年への海洋教育の充実や、地域との連携による科学普及の取り組みにも大きな可能性を感じた。

今後も、JAMSTEC の活動が広く社会に理解され、当市から始まった STEAM 教育が全国的に広く認知され、多くの子ども達が海洋科学の価値に触れる機会が増えることを期待するとともに、私たち議員連盟としてもその橋渡しの一端を担っていきたいと考えている。

第3号様式（第6条、第8条関係）

令和6年6月14日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏 名 五戸定博



調査視察等届出書

八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により、次のとおり届出します。

- 1 旅行者 五戸定博議員
- 2 期 間 令和6年7月3日(水)～令和6年7月4日(木)
- 3 場 所 東京都千代田区
- 4 目的及び内容 我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟 研修会
「STEAM教育について」
「今年度のJAMSTECの取組について」
- 5 支出可能額（上限額） 54,860円
【内訳は、旅費額計算書（第4号様式）に記載のとおり】

第4号様式（第6条、第8条関係）

旅費額計算書

旅 行 日 程				旅 費 計 算 の 基 礎					
行	7/3	八戸駅発	11:07	区 分	基 数	単 価	金 額	備 考	
き	7/3	新橋駅着	14:57	早見表					
帰	7/4	新橋駅発	11:24						
	7/4	八戸駅着	15:04						
経路・滞在地 別紙のとおり				鉄道運賃	633.8k	9,790	17,620	八戸⇄新橋（往復割引）	
				急 行 料 金	特	2	6,270	12,540	八戸⇄東京 631.9k
						2	△200	△400	閑散期割引(7/3, 7/4)
				急					
				特別車両 料 金		2	5,600	11,200	八戸⇄東京 631.9k
				航空運賃					
				バス運賃					
				宿泊料	1	13,900	13,900	東京都内泊（7/3）	
				小 計					
合 計（小計×人数）							54,860	1名	

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会等 行程

・日 程：令和6年7月3日（水）～4日（木）

・場 所：東京都千代田区

月 日	行 程	宿泊地
7月3日 (水)	11:07発 八戸 → (はやぶさ18号) → 14:04着/14:53発 → 東京 → 14:57着/15:00発 → 新橋 (移動) 15:10着/16:50発 → JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 17:00着 文部科学省 (17:00～17:15 表敬訪問) 15:30～16:40 役員会・研修会 ・JAMSTEC東京事務所 15:30～16:40 役員会・研修会「STEAM教育について」 ・文部科学省 17:00～17:15 表敬訪問 (研究開発局長 他)	東京都内
7月4日 (木)	11:10発 JAMSTEC東京事務所 → (移動) → 11:20着/11:24発 → 新橋 → 11:29着/12:20発 → 東京 → 15:04着 (はやぶさ23号) → 八戸 10:00～11:00 研修会 ・JAMSTEC東京事務所 10:00～11:00 研修会「今年度のJAMSTECの取組について」	

令和6年6月25日

会派名 きずなクラブ
代表者名 五戸定博様

氏 名 五 戸 定 博



調査視察等報告書

令和6年6月14日付けで届出した調査視察等を実施したので、八戸市議会政務活動費の取扱いに関する要領第6条第1項の規定により次のとおり報告します。

- 1 旅行者 五戸定博議員
- 2 期 間 令和6年7月3日(水)～令和6年7月4日(木)
- 3 場 所 東京都千代田区
- 4 行 程
7月3日 八戸～JR～東京～JR～新橋
7月4日 新橋～JR～東京～JR～八戸
- 5 支出額 42,130円
- 6 概 要 別紙のとおり

領収書等貼付用紙

項目	研修費	費目	旅費	整理番号	2-1
領収書等貼付欄					

7月3、4日

領 収 証

2024年 6月21日

五戸定博 様

金28,780円

ただし、乗車券類代 /
(クレジットカードによるご利用分)として、上記金額を受領しました。

適用税率 10%

東日本旅客鉄道株式会社
登録番号 T9011001029597本領収証は時間がたつと文字が薄くなる場合がありますので、
長期間保存する場合はコピーをお取り下さい。

本八戸801 No.000006

印紙税申告納
付につき渋谷
税務署承認済

領 収 証

No.123036

2024年 6月25日

五戸定博 様

金 額 ¥ 12,350

但し 宿泊代として(7/3分)

10%対象(税込) 12,350 0%対象

内 消費税 1,235 円 上記の金額正に領収致しました。

現金	✓
小切手	
振込	
クレジット	

北日本トウベル
登録番号 T1420001005756
〒031-0041 青森県八戸市二十三日町4-1 NDビル1F
TEL (0178) 22-5151代貼 収
用 入
印 紙

扱 者 印

※ 領収書等の原本は、用紙に重ならないように貼り付けること。

「我が国の海洋研究を推進する市議会議員連盟」研修会 報告書

日時 令和6年7月3日(水)～4日(木)

場所 国立研究開発法人 海洋研究機構 東京事務所

出席者 五戸定博

【概要】

1 海洋 STEAM プロジェクトの取組状況報告

○日時：令和6年7月3日(水) 午後4時～5時

○説明者：国立研究開発法人海洋研究開発機構

海洋 STEAM 推進課 課長 市原盛雄氏

○説明概要

(1) 振り返り

- ・STEAM教育とは、教科等横断的な学習を通して実社会での問題発見・解決に生かしていく教育。
- ・「海」はSTEAM教育という教科横断的な学びに適したフィールドである。
- ・令和5年3月に八戸市長を表敬訪問し海洋STEAM教育プロジェクトを打診。全面的な協力の回答をいただいた。八戸市立吹上小学校が研究協力校に指定された。

(2) JAMSTECにおける海洋STEAMプロジェクト

- ・昨年より本格始動。学習指導要領に沿って学齢にマッチした教材を製作する。
- ・ダウンロードできるライブラリーをブランディングメッセージとともに公開した

(3) 海洋STEAM教材の製作

- ・生徒用→新たな視点での発送を促す教材。テキスト、ワークシート等を制作する。
- ・先生用→海に精通していない先生でも授業が進行可能となっている。指導書案、朱書等を制作する。

(4) 八戸市でのモデル事業

- ・八戸市立吹上小学校での実践。アンケートの結果から、授業の事前事後とでは海にとっても興味がある生徒が倍増した。
- ・成果→海への関心が深まった。自分事として捉えるようになった。問題解決のために学ぼうとする意欲につながった。
- ・初等教育機関への実装や地方自治体との連携が行われている。海洋STEAM教材開発への協力と実証授業が評価され、八戸市立吹上小学校の横内裕史教諭が「令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰」を受賞した。

(5) 今後の予定 (各自治体の予定)

- ・函館市→市内の中学校(5校程度)において海洋STEAM教材を活用した海洋学習を予定している。小学校は函館市立旭小学校の6年生を対象に授業をし、同校で「北海道小学校理科教育研究大会」を同日開催し海洋学習の授業を公開予定としている。
- ・むつ市→今年度6月にむつ市立関根小学校で実施した。総合的な学習の時間を使って海洋マイクロプラスチックが関根浜の砂浜と鎌倉の砂浜とではどちらが多いのか比較、研究した。

- ・八戸市→今年度5月に5、6年対象に実施した。
- ・横浜市→よこはまこどもマリンスクールにて今年の10月に小学4～6年生に紹介する予定。
- ・横須賀市→制作した海洋副教材を海洋STEAM教材と複合的に活用するためのセミナーとワークショップを実施する予定。
- ・静岡市→静岡市の副読本「しずおか学」を併用した授業実施を検討している。
- ・神戸市→今年9月に神戸市立浜山小学校で実施予定。近隣の漁協訪問を通じて、リアルな体験とも絡めていく。
- ・名護市→小学校で実施予定。むつ市、横須賀市とも交流する予定。

(6) まとめ（プロジェクトの目指す姿）

- ・海洋STEAM教材を通じて「正解のない問い」へ果敢にチャレンジする。
- ・地域ならではの海洋STEAM教育を展開していく、先生や子どもたちの海洋リテラシーが向上すること。
- ・海の学びを通じて、生きる力を身につける。

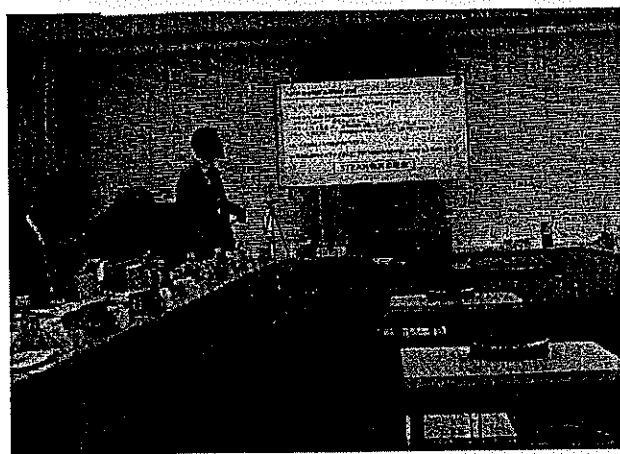
○写真



▲あいさつする大和理事長



▲あいさつする坂本会長



▲STEAM教育について説明する市原課長

○ 所感

海洋 STEAM 教育については、モデル事業として実践した吹上小学校では、事業後のアンケートにおいて海にとっても興味がある生徒が倍増し、加えて、問題解決のために学ぼうとする意欲に繋がったとの成果がみられており、海から拓け海とともに発展してきた当市にとって、身近な海を活用した大変重要な取組であると感じている。

また、海洋 STEAM 教育の取組は、JAMSTEC 関連施設等を有する他都市においても展開され、セミナーやワークショップ、小中学校での実践、他都市との交流が予定されており、当市での取組の更なる充実を図るため、今後は、JAMSTEC との連携を更に深めるとともに、他都市との取り組み事例の共有や情報交換等に力を入れることも大切であると感じたところである。

今後は、当市ならではの海を活用したこの事業が、将来を担う小中学生の更なる学びの力の育成につながるものとなるよう期待するとともに、今回の学びを今後の議員活動に活かしていきたいと考えている。

2 今年度の JAMSTEC の取組について

○日 時：令和6年7月4日（木）午後9時30分～10時30分

○説明者：国立研究開発法人海洋研究開発機構

理事 小平秀一氏

○概 要

(1) 目的

JAMSTEC は海洋の総合的な研究開発機関として、新たな科学技術で海洋立国日本の実現を支え、国民、社会そして地球の持続的発展、維持に貢献することを目指している。これまで、様々な部門での調査研究を行い海洋、地球、生命、人類の統合的理解の推進に努めてきた。今回は、理事の小平氏から、能登地震への対応、「ちきゅう」による東北沖地震震源断層掘削計画、南海トラフ地震に備えた取組をお聞きし、JAMSTEC が具体的にどのような活動をし、どのようにその成果が活かされているのか理解を深めるものである。

(2) 説明概要

①能登地震への対応

- ・2024年1月1日発生 M7.6 最大震度7
- ・震源は珠洲市付近 深さ約15km 主として南東傾斜の逆断層
- ・余震域は震源から北東、南西にそれぞれ70～80kmに広がる。
- ・さらに北東の佐渡島西方沖の余震の明瞭な配列は確認できない。海域の観測点がないため、精度の良い震源が求められない。
- ・本震の震源断層が決められないため、地震時の主要な滑り分布が評価できない。
- ・佐渡島西方での調査研究が必要である。→調査のため緊急航海を実施する。
- ・白鳳丸による海域緊急観測を行った。→OBSの設置、回収、海底地形調査等
- ・本震で大きく動いていない海域で活発な地震活動があった。→1次、2次航海による結果から
- ・水中ドローンによる海底断層の撮影や浅層構造調査を行った。→3次航海にて
- ・今後は余震活動の推移を調べ、海域の震源断層を捉える。

②JTRACK:「ちきゅう」による東北地震震源断層掘削計画

- ・2024年9月「ちきゅう」は再び日本海溝へ向かう。→1000年に一度しか挑めない挑戦
- ・なぜ海溝付近で大規模なすべりが起こったのかを理解する。
- ・JFASTの4つのチャレンジ①断層を探し当てる ②断層サンプルを回収する ③断層に温度計を
設置する ④その温度計をROVで回収する
- ・断層を探し当てる→ドリルの上に発電機と各種センサーを装備し、掘りながら孔壁を計測する。
- ・断層サンプルを回収する→断層帯の厚さは約4mであり、断層運動によっては著しく変化したものらしい岩石である。
- ・東北沖地震の巨大な断層滑りの原因は？→プレート境界断層での温度計測に成功した。断層部分だけが温かい温度となっている。
- ・2024年9月～12月に再び震源断層に挑み、プレート境界断層浅部とその周辺を構成する岩石の物理的・科学的特性とその時空間変化を理解する。
- ・JTRACKのミッション→検層データを得る。コア資料を採取する。掘削孔内に装置を設置す

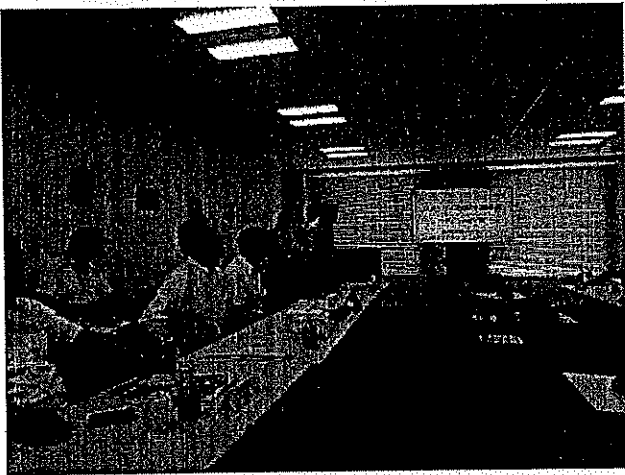
る。

- ・コア分析、検層、長期孔内観測データ、広域観測データを総動員して検証をしていく。

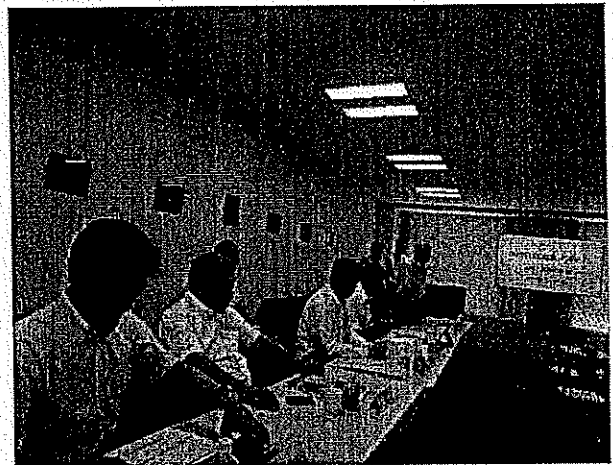
③南海トラフ地震に備えた取組

- ・多様性と予測の不確実性を持つ。→地震発生間隔は90年から240年とばらついている。また、1つの地震サイクルの中で東西に分かれて地震が起きたり、全体で起きたりしている。このばらつきにより、地震履歴情報だけでは次の地震がいつ起きるかの評価は困難である。津波観測監視システムやスロースリップ断層観測システムを使った発生後の早期検知・警報、発生前の現状把握が必要となる。
- ・即時津波予測システムの社会実装→和歌山県・三重県と連携した広域展開
- ・南海トラフ地震臨時情報→南海トラフ沿いで異常な現象を観測した場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合などに、気象庁から発表される情報
- ・南海すべりゆっくり滑り観測監視計画→超高度な地震センサーを「ちきゅう」により海底下深くに設置し、南海トラフ地震発生帯におけるゆっくり滑りの常時リアルタイム観測を目指す。
- ・南海トラフの3次元地下構造→過去20年間の地下構造調査ビックデータを全て活用する。
- ・10年後のイメージ→即時に情報発信、リアルタイムモニタリング・情報発信が可能となる。

○写真



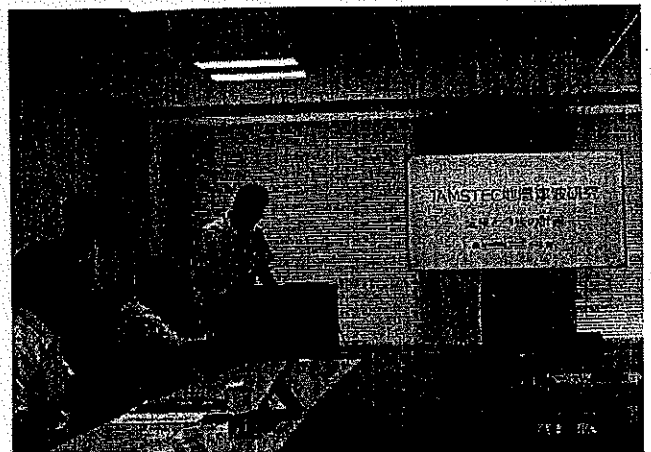
▲あいさつする坂本会長



▲研修に臨む八戸市議団



▲研修に臨む八戸市議団



▲説明する小平理事

○ 所感

今回、JAMSTEC による能登地震への対応や東北沖地震震源断層掘削計画、南海トラフ地震に備えた取組、また、その成果がどのように活かされているかに関する説明を受けたことは、昨日説明を受けた海洋 STEAM 教育をはじめ、水産科学館マリエントにおける展示などにおいて連携している JAMSTEC の活動をより深く知ることができる大変貴重な時間となった。

当市においては、三陸はるか沖地震や東日本大震災など、これまで幾度も地震による被害をうけてきたところであるが、2024 年 9 月から地球深部探査船「ちきゅう」が日本海溝で行う東北地震震源断層掘削計画に取り組むことは、今後の地震発生のメカニズム解明につながるものであり、その成果にとっても期待している。

また、南海トラフ地震に備えた取組に関しては、和歌山県、三重県と連携した即時津波予測システムをはじめ、今後の地震予測や地震発生時の即時の情報発信を可能とする重要な取組を展開されているが、地震予測が困難な中、発生後の早期検知、発生前の現状把握につながり、今後の地震被害の軽減などの施策に効果が期待されるものである。

これら取組については、今後、成果が期待されるものであることから、その成果を関連自治体や団体に共有するとともに、地震被害の軽減などの施策検討に活用できるよう、今回学んだ内容に関する今後の動向を注視していきたいと考えている。